



リアルタイムに ネットなしで声が届く 新感覚 骨伝導イヤホン

Wai-DEMIC

「この先の絶景を見てほしいを伝えたい」「体調に変化があったので休憩したい」「道の間違いを伝えたい」「ペースダウンしてほしい」など、グループでのサイクリングやアウトドア活動中、コミュニケーションが思うように取れず、もどかしさを感じた経験はないだろうか。

その想いに応えるのが、創業から36年にわたって無線技術を活用したシステムや製品開発を手がけてきた国内企業「株式会社アクティブ・ブレインズ」。同社が立ち上げた新ブランド『Wai-DEMIC』の第一弾製品である骨伝導イヤホン「LARUS（ラルス）」だ。独自のインカム機能を搭載したライドトーク特化型のイヤホンだ。骨伝導イヤホンは、内耳の骨を通じて音を伝える構造により、耳を塞がずに周囲の音を聞き取れる安全性・快適性が魅力だ。『LARUS』は、その基本性能を押さえて、独自開発のインカム機能で、ピアツーピアで通話するシステムを実現。スマートフォンやネット回線

が必要ないので、4G/5GやWi-Fiスマートフォンの電波が届きにくい自然豊かなエリアでも通信が可能だ。最大10人までの同時通話ができ、ボタン一つの操作で同じグループの「LARUS」同士が自動で接続される仕組み。グループA・B・Cのデフォルトグループだけでなく、任意のプライベートグループも設定することもできるので、シーンやチーム構成に応じた柔軟な運用が可能だ。

トランシーバーのように話すたびにボタンを押して話す「プッシュトーク方式」とは異なり、ワンクリックするだけで仲間との会話がスタート。相手を認識すると自動的に通話モードへ切り替わるので、使用中に二時的に通信が切れてしまった場合でも、お互いが近づいただけで再接続する。常にスムーズに会話ができるので、ストレスなく会話を楽しむことができるのも嬉しい。通信距離は最大約250m、最大6時間の連続通話に対応しており、長時間のアクティビティでも幅広く活躍する。

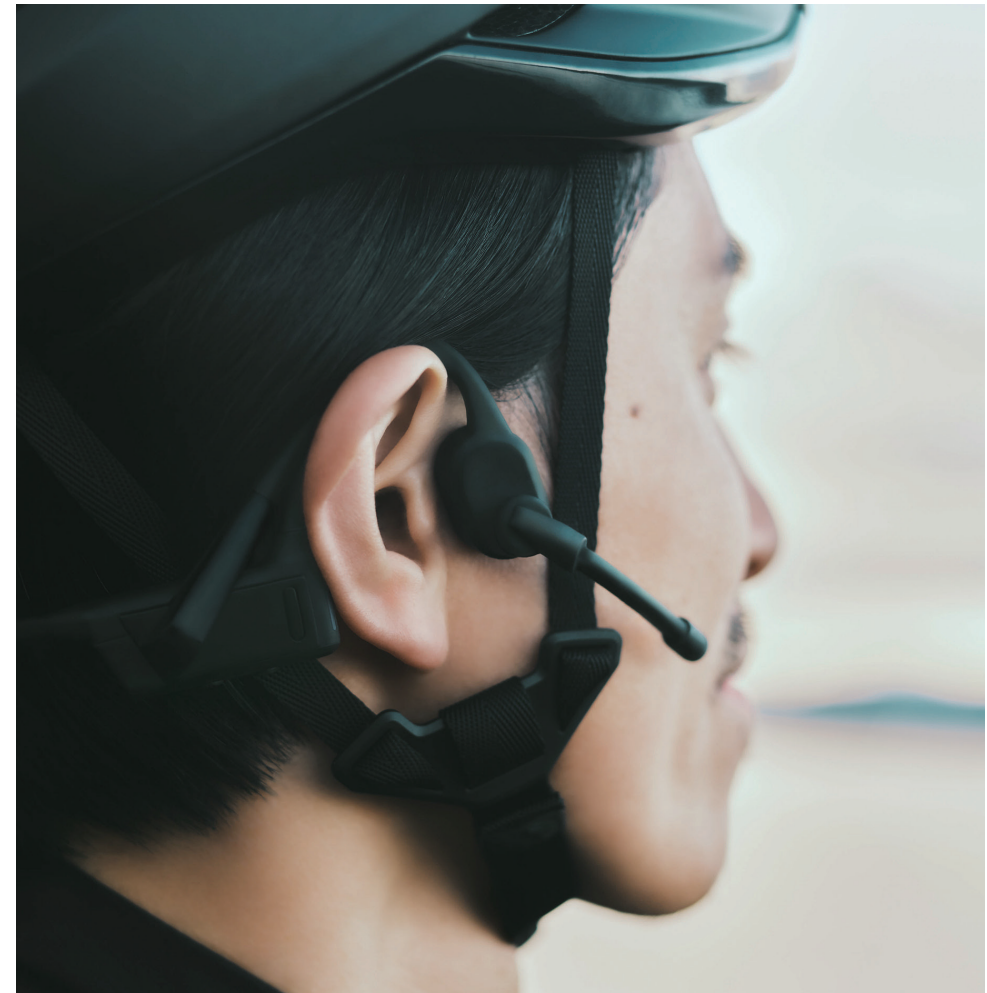


「LARUS」



また「Insta360 X4」などの Bluetooth 外部マイク対応アクションカメラと連携させることで、通話中の会話や臨場感あるやりとりをそのまま映像と一緒に記録できるのも大きな魅力。「声」も含めたリアルな体験を保存できるため、旅の記録としてはもちろん、チームでの振り返りやSNSでのシェアにも最適。映像と音声の融合により、アクティビティの価値をさらに高めてくれる。

さらに、機能だけでなく使い心地にもこだわりが詰まっており、重量わずか約33gの形状記憶チタン合金を採用した柔軟なフレームが、頭部に優しくフィットする。ジョギングやライド、登山のように動きのある場面でも安定した装着感が持続し、長時間の使用でも疲れにくい。生活防水仕様のため、突然の雨などでも安心して使用することができる。独自開発された骨伝導ユニットが、骨伝導特有の不快感を抑えながら男性の低い声やビートの効いた重厚な音楽



にも対応。 Boom フォーミング技術によつて話し声を的確にキャッチし、デジタル信号処理で不要な雑音を除去する。オープンイヤータイプの設計により、自然の音や環境音を楽しみながら、仲間との会話を明瞭に聞き取ることができるので、快適なコミュニケーションが可能だ。

2025年1月にはクラウドファンディングサイトで先行販売が開始され、多くのアウトドア愛好者やアスリートから支持を集めた。2025年秋以降に一般販売が開始される予定だ。

「一緒に走る」「共に登る」「同じ景色を見る」を同時に叶える新たなイヤホンで仲間とのつながりを深め、時間をより豊かに。サイクリングやゴルフ、登山、ウインタースポーツ、釣り、など、幅広いシーンのチームコミュニケーションの在り方を変えてくれることだろう。

(ライター／彩木)



Wai-DEMIC 株式会社 アクティブ・ブレインズ
ワイ デミック
☎ 050-1721-8014
✉ sales@wai-demic.com
📍 神奈川県横浜市区高島1-1-2 横浜三井ビルディング12F
https://www.wai-demic.com/ @waidemic

 **Wai-DEMIC**